

1. 活動の概要

5月16日(木)、邑南町立瑞穂小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに遺跡や文化財が身近なものであること知るために、学校周辺の遺跡や出土した土器、石器などについて実物を見ながら説明を受けました。自分たちの住む町にたくさんさんの遺跡があり、様々な出土品があることを知った児童たちは、とても興味を持った様子でした。

続いて、体育館に移動して、大仏パネルに挑戦しました。はじめに全員で並べ方を相談し、先生の合図でスタートしました。はじめはパネルの置き場所を確認したり、きれいに並べるのに苦労した様子でしたが、全員で協力して目標時間で完成することができました。実物大の大仏パネルが完成すると、児童たちはその大きさに驚きました。

その後、理科室に移動し、鏡づくりを体験しました。グループごとに役割を決め、コンロで合金を溶かし、緊張しながら鑄型に流し込みました。鑄型を開けてミニ三角縁神獣鏡が現れると児童たちから歓声があがりました。

学習や体験活動をととして、児童たちは歴史への関心が高まり、地元の文化財にも興味を持った様子でした。

2. 活動の様子

1)古墳時代や奈良時代について学ぶ



「みなさんの町にはこんなに遺跡があります。」



「本物の土器に触ってみよう」

2)古代体験活動～奈良の大仏パネル～



みんなで協力してパネルを並べます



完成した大仏と記念撮影

3)古代体験活動～鏡づくり～



溶かした金属を慎重に鑄型に流し込みます



「顔が映るよ！」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 自分の周りにも古墳や遺跡があることが一番心に残った。古墳を身近で見て観察したい。
- 邑南町には他にどんな文化財があるのか知りたい。
- こんな大きな大仏を作る技術が昔はあったんだと思った。奈良の大仏のくわしい歴史をもっと知りたい。
- 今と昔の仏教は変わっていないのか知りたい。
- 初めて作って鏡にするときも時間がかかったけど、ちょっとでも自分の顔が見えたので良かったです。
- 鏡のことをもっとしりたい。鏡の模様の意味を知りたい。
- 実際に遺跡の場所に行ってよく観察したい。

2)担任の先生から…

- 郷土の文化財を知ることができ、体験を通して奈良の大仏や金属鏡の歴史を知ることができたことは実感を伴った理解へつながった。
- たくさん、より多くの学習体験を開発してください。発掘調査を体験させたいと思いました。

3)埋文センターから

学校や自分たちの家の近くに、古墳や奈良時代の遺跡があり、発掘調査が行われたことを知った子供たちは、歴史や文化財を身近に感じた様子でした。

また、体験活動を通じて、古墳時代の鏡や奈良の大仏についても関心が高まったようで、地元の遺跡や古墳、大仏について、「もっとくわしく知りたい」という感想がたくさんありました。先生からご指摘があったように、より様々な体験ができるようメニューを工夫して、さらに良い内容を目指していきたいと思います。